

科目名	バッグ実習Ⅱ-A・B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	360	作成者	片山 知佳

【科目の到達目標】

バッグの制作方法を一通り理解し、ハンドバッグの制作に必要な技術と知識を身につける。
基礎的な制作方法を理解した上で夫々の制作方法に合った細部の加工作業ができ、またそれを生かしたオリジナルデザインの作品を制作することができる

【科目の概要】

革を扱うことを主にして、より専門的な技術の習得を目標とする。ハンドバッグの制作技術に特化し、実際にバッグを制作していきながら、細かい技術や制作方法を身に付ける。

【授業計画】

90分/コマ

1～6	プレタ展出品制作	91～96	上コレ出品制作 1点
7～12	プレタ展出品制作	97～102	
13～18		103～108	
19～24		109～114	
25～30		115～120	
31～36		121～126	
37～42	↓	127～132	(課題)バーキン制作
43～48	会社見学 (課題)横マチ外縫いバッグ制作	133～138	↓
49～54	たつの出品制作 1点	139～144	
55～60		145～150	
61～66	たつの出品制作 1点	151～156	トラベル用バッグ制作
67～72		157～162	
73～78		163～168	
79～84		169～174	
85～90		175～180	

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%

【教科書・参考書】

プリント配布

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	バッグパターンメイキング I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年		講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	橋本みずえ

【科目の到達目標】

バッグのパターン技術の習得

- ・型紙の基礎をしっかりと身につける。
- ・ディテールバリエーションを身につける。
- ・デザイン画・写真を見て生徒自身で考える力を身に着ける事。

【科目の概要】

バッグの型紙の基礎から型のバリエーション、ディテールなどの基礎知識を習得する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1	型紙基礎 ・型紙の作り方の基礎 ・マチなしポーチをベースに		16 デテールバリエーション④ ・通しマチトートベースに (天マチ)
2・3	切り替えバリエーション ・マチなしポーチをベースに		17 デテールバリエーション⑤ ・通しマチトートベースに (内ポケット、芯使い、底鉾)
4・5	フォルムバリエーション ・マチ付きポーチベース (胴・マチ・天マチ)		18・19 通しマチトート制作
6・7	裁断、漉き、縫製基礎 ・マチ付きポーチベースに製作		20～24 ポストンバック(山形)制作 ・丸ハンドル ・ショルダーベルト
8	ディテールバリエーション① ・通しマチポストンベースに (コーナー、ハカマ)		25～28 巾着ショルダーバック制作 ・底まとめ ・ショルダーベルト
9	ディテールバリエーション② ・通しマチポストンベースに (根革)		29 テスト
10・11	ディテールバリエーション③ ・通しマチポストンベースに (ハンドル)		30 テスト解答 後期まとめ・復習
12・13	通しマチポストン制作		
14	テスト		
15	テスト解答 前期まとめ・復習		

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

製図用具一式

科目名	雑貨デザイン&プランニング	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	実習 80% 講義 20%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

企画に必要な素材や製品の知識、トレンド情報の収集と分析から、商品企画とデザインができる。
多様化するファッション業界の現状と市場を分析しながらオリジナル企画を立案できる。

【科目の概要】

ファッション業界における雑貨商品市場を意識した企画を立案し、プレゼンテーションできる書類を作成する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	授業ガイダンス		16 上田学園コレクション 出品企画3
2	ブランド企画 プロローグ 1		17 上田学園コレクション 出品企画 4
3	ブランド企画 プロローグ 2		18 上田学園コレクション 出品企画 5
4	ブランド研究 1		19 オリジナルブランド企画 1 商品デザイン
5	ブランド研究 2		20 オリジナルブランド企画 2 商品デザイン
6	マーケットリサーチ 1		21 オリジナルブランド企画 3 商品デザイン
7	マーケットリサーチ 2		22 オリジナルブランド企画 4 商品デザイン
8	オリジナルブランド企画 1		23 オリジナルブランド企画 5 商品デザイン
9	オリジナルブランド企画 2		24 オリジナルブランド企画 6 ポスター作成
10	オリジナルブランド企画 3		25 オリジナルブランド企画 7 まとめ
11	オリジナルブランド企画 4		26 オリジナルブランド企画 8 まとめ
12	オリジナルブランド企画 5		27 プレタポルテ展示会 出展企画 1
13	上田学園コレクション出品企画 1		28 プレタポルテ展示会 出展企画 2
14	上田学園コレクション出品企画 2		29 プレタポルテ展示会 出展企画 3
15	前期試験		30 後期試験

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10%課題作品の評価60%理解力(テスト)30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

コンピュータ、ファッション雑誌、ノート、描画用具

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20% 演習 80%
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

修得したテクニックを更に深めクオリティの高いプレゼンテーションを目指す。
就職・将来の実務の為に作品プロモーションを行なう為のコンピューター技術を修得する。

【科目の概要】

プロモーションする為のポートフォリオ・企画書を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	illustrator・Photoshop復習 ① マガジン作成		16 企画ボード制作Ⅱ ① ブランド企画 表紙・コンセプトMAP
2	illustrator・Photoshop復習 ② PCデザイン画		17 企画ボード制作Ⅱ ② ブランド企画 表紙・イメージMAP
3	ポートフォリオ制作 1 自己PRMAP制作		18 企画ボード制作Ⅱ ③ たつの企画 素材・ディテール・色・フゾク
4	ポートフォリオ制作 2 作品コンセプトと素材・色・フゾクMAP		19 企画ボード制作Ⅱ ④ ブランド企画 デザイン画MAP
5	ポートフォリオ制作 3 デザイン画MAP		20 企画ボード制作Ⅱ ⑤ ブランド企画 イメージフォトMAP
6	ポートフォリオ制作 4 イメージフォトMAP		21 企画ボード制作Ⅱ ⑥ プレゼンテーション
7	ポートフォリオ制作 5 プレゼンテーション		22 ポートフォリオ制作 表紙・コンセプトMAP
8	企画ボード制作Ⅰ ① 表紙・コンセプト		23 ポートフォリオ制作 イメージMAP
9	企画ボード制作Ⅰ ② イメージフォトMAP		24 ポートフォリオ制作 素材・ディテール・色・フゾクMAP
10	企画ボード制作Ⅰ ③ 素材・ディテール・色・フゾクMAP		25 ポートフォリオ制作 デザイン画MAP
11	企画ボード制作Ⅰ ④ デザイン画MAP		26 ポートフォリオ制作 イメージフォトMAP
12	企画ボード制作Ⅰ ⑤ イメージフォトMAP		27 ポートフォリオ制作 修正と追加
13	企画ボード制作Ⅰ ⑥ プレゼンテーション		28 ポートフォリオ制作 プレゼンテーション
14	PCデザイン画 コンテストデザイン		29 まとめ
15	前期末試験		30 後期末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	バッグデザイン	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

・市場におけるバッグの位置づけ、企画サイクルを理解し、企画提案、プレゼンテーション、販売までの提案ができる人材の育成を目指す

【科目の概要】

・デザイン力の発想、表現、具体化、発表を通し、市場に合った企画提案できる人材を目指す。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	授業概要	31・32 デザイン画選手権②
3・4	デザイン発想	33・34 海外ブランド分類
5・6	外部コンテスト	35・36 イタリアブランドリサーチ
7・8	外部コンテスト	37・38 ブランド調べ資料作成
9・10	皮革の分類	39・40 ブランド調べ プレゼン
11・12	たつの打ち合わせ	41・42 オリジナルブランド企画
13・14	たつの見学	43・44 オリジナルブランド企画
15・16	たつの産地企画	45・46 オリジナルブランド企画
17・18	たつの産地企画	47・48 イタリア留学前 事前資料作成
19・20	プレゼン	49・50 イタリア留学前 事前資料作成
21・22	外部コンテスト	51・52 イタリア留学前 事前資料作成
23・24	外美コンテスト	53・54 イタリア留学前 事前資料作成
25・26	上田コレクション出品デザイン	55・56 イタリア留学前 事前資料作成
27・28	テスト	57・58 イタリア留学前 事前資料作成
29・30	デザイン画選手権①	59・60 テスト 発表

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌

【教材・教具】

筆記用具、デザインパッド、彩色用具一式

科目名	フォトデザイン	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 40% 実習 60%
時間数	60	作成者	岩田 賢彦

【科目の到達目標】

- ①: 写真と画像の違いを理解出来し、ポートフォリオ作成に役立てられるようになる
 ②: ポートフォリオ用の写真撮影スキルの向上

【科目の概要】

スマートフォンの拡充により、写真が身近になっただけに人と差が付けられる写真を撮る技術は必要不可欠な要素
 講義を中心に、得られた知識を普段使っているスマートフォンを使って体感する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	デザイナーとポートフォリオ	16 制作物を活かす撮影
2	撮影実習①	17 撮影実習⑦
3	スマートフォンとデジタルカメラの違い	18 プロカメラマンの撮影技術
4	撮影実習②	19 撮影実習⑧
5	スマートフォンで撮る為に…	20 ポートフォリオを作ってみる
6	撮影実習③	21 ポートフォリオを作ってみる②
7	プリント実習①	22 ポートフォリオを作ってみる③
8	「光」を知る・理解する	23 キャプションの大切さ
9	撮影実習④	24 みんなのポートフォリオを作ってみる
10	画像編集実習①	25 みんなのポートフォリオを作ってみる②
11	撮影実習⑤	26 みんなのポートフォリオを作ってみる③
12	写真と画像	27 みんなのポートフォリオを作ってみる④
13	撮影実習⑥	28 ポートフォリオは自分自身
14	写真の見方	29 Web 用ポートフォリオ
15	期末考査	30 期末考査

【成績評価方法】

提出物評価70% テスト20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プロジェクターにて図師作成のレジメを投影

【教材・教具】

筆記用具・個人所有のスマートフォン

科目名	英会話Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	小川彩美

【科目の到達目標】

・二年次末のイタリア技術研修に向けて、現地での授業において、積極的にコミュニケーションを取るために英語を習得する。

【科目の概要】

海外の人と臆することなく話せるように、ペアワークを中心に会話練習を行う。
プレゼンテーションを入れ、人前で自分の思っていること・自分の作品について英語で話す練習をする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	自己紹介		16 前期の復習
2	動詞の使い方		17 旅行会話 道を尋ねる
3	形容詞の使い方		18 旅行会話 レストランでの注文
4	副詞の使い方		19 旅行会話 ホテルでの会話
5	過去形		20 旅行会話 買い物
6	未来形		21 旅行会話の復習
7	現在進行形		22 助動詞の使い方
8	自分の好きなことについて		23 丁寧な表現
9	疑問文		24 世界で起こっているニュースについて
10	靴について		25 自分以外の人のことについて話す
11	バッグについて		26 接続詞
12	素材について		27 お願いをする(Can you?/Could you?)
13	プレゼンテーション		28 プレゼンテーション
14	前期の総まとめ		29 後期の総まとめ
15	期末試験		30 期末試験

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	デザイン史&概論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	2年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	60	作成者	高木 義隆

【科目の到達目標】

ファッションを成立させている文化や社会、歴史的背景を知り、現在のファッションの意味(ファッションとは何か?)多様な視点で読み解き、今後の企画、発送等に活かす。

【科目の概要】

服飾文化は、その社会や文化的背景と密接に関わりながら変化し、現在のファッションを成立させている。特に高度な消費社会を迎えた20世紀において、美術、造形・デザインにおける潮流や著名な作品を解説しながらファッションを文化的な現象として体系的に捉える。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	デザインとは何か? ・日本の経営者	16 ⑳(番外編)神話と宗教
2	①ゴシック、②ルネサンス、③ガーデンベルグ	17 ㉑オプアート、㉒スカンジナビアモダン、 ㉓ミニマリズム
3	④バロック、⑤ロココ、⑥アーツ&クラフツ ・映マリーアントワネット	18 ㉔スペースエイジ、㉕プリコラージュ、 ㉖サイケデリック
4	レポート作成1	19 ㉗アーキグラム、㉘東京オリンピック1964、 ㉙ヒプノシス
5	⑦ジャポニズム、⑧ベル・エポック ・映ムーランルージュ	20 レポート作成3
6	⑨アール・ヌーボー、⑩ユーゲントシュティール、 ⑪ウイーン工房	21 発表1
7	⑫ドイツ工作連盟、⑬キュビズム、⑭未来派	22 ㉚スーパーリアリズム、㉛ハプティクス ㉜ポストモダニズム
8	⑮ロシア・アバンギャルド、⑯ダダイズム ⑰モダニズム	23 ㉝ノーデザイン、㉞ユニバーサルデザイン、 ㉟アフオーダンス、㊱サステナビリティ
9	⑰デ・スティール、⑲バウハウス	24 ㊲メンフィス、㊳トマト、㊴ドローク
10	㉑アール・デコ ・ザグレーとギャッツビー ・シャネル	25 ㊵(番外編)音楽
11	レポート作成2	26 ㊶(番外編)アート
12	㉒アイソタイプ、㉓インダストリアルデザイン ㉔インターナショナルスタイル	27 レポート作成4
13	㉕ミッドセンチュリー、㉖オーガニックデザイン	28 発表2
14	㉗CIデザイン、㉘スイススタイル	29 ㊷クリエイティブコモンズ ～パーソナルアプリケーション
15	前期末試験	30 学年末試験

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

適宜プリントを配布 石川まさる(2015)「絵ときデザイン史」

【教材・教具】

筆記用具、クリアファイル(40P)、PC、モニター(プロジェクター)